

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 7 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメントにおいて、身体的なアセスメントが中心で、個々の思いやニーズについては、職員間で話し合いはしているものの記録に残せていない。	個々の思いやニーズに沿ったプランの立案、実施を記録できるシートの作成、実施をする。	アセスメント、ケース記録など様々な記録様式があり、記録量が膨大であるため、シートの変更を行う。	3ヶ月
2	33	入居者の平均年齢が87歳で高齢化しており、今後、利用者の重度化が予測されるので、早期段階から重度化に対応できる体制を作っておく必要がある。	重度になってもあゆみの家での生活が継続できる。	家族様と入居者についての方向性を明確化する。医師との連携を密に行い、重度化になった場合も往診など依頼できる体制を整えておく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。